

北海道真狩高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和元年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	地域の特性を生かし、教育資源を活用することにより「有機農業コース」と「野菜製菓」コースの充実、発展を図ります。	B	育成したい生徒像を明確化し、「身につけたい資質・能力」を意識した教育課程の編成を推進します。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	インバウンドをいかした生徒の英語教育実践機会を提供します。	A	英語実践機会として英語表記のPOP制作を行い、インバウンド向け販売会を実施します。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	講演会や先進地視察を含めた担い手研修を実施します。	A	農業普及員や農業指導員、地域農協など専門機関による出前授業や研修を実施します。 4年生の専門教育を充実させます。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	日頃の学習を生かし、プロジェクト活動では地域をふまえた課題設定をし、関係機関と連携した専門教育を推進します。	A	分会活動での連携活動を推奨します。 年1回のプロジェクト報告会を行います。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	有機JAS認定を活用し安全・安心な農産物・加工品の生産製造と地域への発進力を高めます。	A	有機JAS農産物を生かした販売、加工品を販売会に出品します。
	⑥「食農」教育を推進します。	農業教育をとおして食べ物を無駄にしない指導を徹底します。	A	学校給食残食0を目指します。 食材の有効活用を考えたプロジェクト活動を行います。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	地域企業・関連団体と連携して大豆100粒運動を実施します。	A	1年生全員がジュニア豆腐マイスターを取得します。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	村立学校の特色をいかし、保・小・中との連携農業学習をとおして、農業教育活動を地域に提供します。	A	実習農場を活用し、生産、加工、流通までをとおした食育学習に取り組みます。
V 地域防災を推進する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	専門学校とのダブルスクールをとおして、加工技術の向上を目指します。	A	加工技術を生かしたコンテスト出品を年3回行います。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	危険物取扱や普通救命講習の資格取得を推奨します。 防災意識を高め、各施設、設備、車輛等の点検・管理に努め、生徒の安全教育を推進します。	A	1年生の危険物取扱免許取得60%を目指します。 普通救命講習を実施します。 危機管理マニュアルの再確認と周知を徹底します。